

INTERNSHIP

中小企業でもできる！

インターンシップ活用による

学生向け広報

EXPERIENCES
TRAINING GOALSKILLS OPPORTUNITY
PERSONAL DEVELOPMENT

現在、売り手市場と呼ばれる学生優位の環境で、多くの中小企業が新規学卒者の人材確保に苦戦しています。その要因として挙げられるのが、学生間で企業の知名度が不足していることです。そのような状況を打開するため、学生向け広報の一環として「インターンシップ」が注目され、様々な企業で導入が始まり広がりを見せています。しかしながら、人員や費用の負担に不安がある、または実施ノウハウを持たない中小企業にとっては、インターンシップ導入に対してハードルが高いのも事実です。

そこで今回は、インターンシップを有効に活用している企業の経験談や、大学キャリアセンターから見る学生のインターンシップ観について伺いました。企業の将来を担う人材の採用に向けて、インターンシップを活用してはいかがでしょうか。

参加型の就業体験で 会社の魅力を発信

「イベント参加型インターンシップ」という形で、3年次の大学生に参加を呼び掛けたのは、今から4年前のこと。電設資材の総合卸という業態が外から分かりにくいことから、若い人たちに「もっとう社のことを知ってもらえないかと考えたのがきっかけです。」

インターンシップでは、当社の得意先とその家族が4,000名以上来場する展示即売会で、会場での案内業務やドリンクコーナーでの接客、ビンゴゲームのアシスタントなどを体験してもらっています。イベント参加型のインターンシップという気軽さ、開放感もあり、同世代の社員と仕事以外でいろんな話が弾んで、学生にとっては就職への不安や疑問を解消する場に、また私たちにとっては会社の魅力を伝えるコミュニケーションの場になっていますね。「楽しみながら学べた」「この業界に関心が持てた」という嬉しい声も寄せられています。口コミなどで年々インターンシップ生の応募が増



インターンシップに
取り組む学生



え、実際に採用へと結びついた学生もいます。

当社では、イベント参加型以外にも、簡易な就業体験型インターンシップを実施していますが、特別なプログラムを準備しているわけではなく、一日3時間ほど会社に来てもらって、社員と一緒に書類の作成や整理をするなど、普段の実務を体験してもらっています。

その際には、休憩時間に社員と一緒にお茶を飲みながら、リラックスして社員と学生がコミュニケーションを取れる場が出来るよう工夫をしています。

人員や費用負担の問題など、中小企業にとってインターンシップの受け入れは必ずしも容易でないかもしれませんが、しかし、どのような形のインターンシップでも、学生一人ひとりと向き合う機会を大切に、少しの工夫を凝らすことで、社内への大きな負担は無く、学生にとって満足度が高いインターンシップを導入することが可能です。これからも積極的に学生と触れ合うことで、優秀な人材確保につなげていきたいですね。



総務課 課長の坂井 正男さん

ニシムラ株式会社

住所／京都市南区上鳥羽角田町32
TEL／075-671-1061
<http://www.nsmr.co.jp/>
業務内容／照明器具、空調機器、
電線ケーブル等の電設資材の総合卸

大学・学生から見たインターンシップ

龍谷大学

住所／京都市伏見区深草塚本町67(深草キャンパス)
TEL／075-645-7878 www.ryukoku.ac.jp



学生のキャリア形成と就職の橋渡し

インターンシップをキャリア教育の重要な柱と考え、単位認定を伴う協定型を中心に多様なプログラムを用意しています。インターンシップの前後に時間をかけ、OB・OGによるパネルディスカッションやグループワーク、ビジネスマナー講座、成果発表会などを実施。受入先の企業でブレゼンを行い、優秀賞を獲得する学生もいるなど、各々が意欲的に取り組んでいます。

最近では、一度はインターンシップを経験したいという学生が増えてきたように感じます。その一方で、思ったような経験ができません。「無償アルバイトのような扱いだった」「ほったらかしにされたなどの声が寄せられることもあり残念に思います。3年次の夏の時点では、超大手企業だけでなく、知らない企業やニッチな業界を見てみたいという学生も多いので、そのような学生を対象とした中小企業への理解や魅力が伝わるプログラムを提供いただきたいと思います。そのようなインターンシップが企業と学生の理解をお互いに深めるきっかけになればと考えています。



キャリアセンター インターンシップ支援オフィスの原課長(右)と茶谷さん(左)



同大学のインターンシップオリエンテーションの様子

大学・学生から見たインターンシップ

花園大学

住所／京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1
TEL／075-823-0586(就職課) www.hanazono.ac.jp



学生が企業や社会と接点を持つきっかけ

本学には京都出身の学生が多く、就職でも地元志向が強いのが特徴です。その中で、インターンシップを人間力形成のための貴重な体験の場と位置づけ、低年次から様々な取り組みを行っています。1、2年次には京丹後市の道の駅と連携して、農産物の収穫・加工・販売など六次産業の就業体験プログラムを準備し参加を呼びかけているほか、3年次の夏には社会に出ること・働くことを意識した長期・短期の単位認定型のインターンシップを用意。毎年、意欲のある多くの学生が参加しています。

学生にとっては普段の実務でも新鮮に映ります。例えば、営業先に同行したり、ランチしながら雑談する、取引の瞬間に立ち会う…。普段の実務をありのまま経験することで、その企業の魅力や仕事の楽しさ、厳しさは十分に伝わります。インターンシップで得た感動や気づきが学生を成長させ、今まで知らなかった地元企業への関心へと広がっていく。そんな相乗効果を期待したいと思っています。



就職課の森課長



インターンシップを通して働く姿勢を学ぶ学生たち

京都商工会議所では、業界研究会や合同企業説明会といった様々な会員企業向け人材確保支援事業を行っております。

【お問い合わせ】会員部 人材開発センター 雇用担当 TEL:075-212-6414